

あなたがいて、わたし、がある。

ゆうあい

12

DECEMBER 2022  
vol.564



明生園のぶちゅうあい祭  
バルーンパフォーマーの方をご招待し、  
たくさんのバルーンアートショーを楽しみました。

## 特集 現任職員研修会

12月号 令和4年12月1日発行  
発行月1日/発行者/大場公孝/発行所/社会福祉法人侑愛会(北海道北斗市追分7丁目8番9号)



<https://www.yuai.jp/>

yuai

社会福祉法人侑愛会  
学校法人ゆうあい学園

[www.yuai.jp](http://www.yuai.jp)



社会福祉法人侑愛会  
学校法人ゆうあい学園

[www.yuai.jp](http://www.yuai.jp)

03  
VOL.

## 巻頭 インタビュー

### 人材確保の取り組みについて

少子高齢化が進む日本全体の中でも、介護・福祉業界の人材不足は特に深刻と言われています。豊富な資金や高尚な理念があつても、サービスを支える人間がいないと事業の継続そのものが困難となります。私たちゆうあいの人材確保も、年々厳しさを増すばかりと耳にします。

今回の巻頭では、新卒採用の担当者である小谷園長、中途採用の担当である紀谷園長にお話を伺いました。

日付 11月1日(火) 場所 オンライン(今般の状況を鑑みて対面取材を中止) 話し手 小谷園長、紀谷園長 聞き手 ゆうあい編集委員(丸山、櫻井)

新卒採用部門は現在、私をふくめて6名が役割分担をして業務に当たっています。この数年、新卒採用業務は多岐にわたるようになっています。卒業年度学生向けの各種就職フェアの参加や学内説明会・就職説明会・見学会の実施・採用試験までの管理のみならず、広報活動、学校との繋がり作り、卒業年度学生以外への就業体験イベントの実施、内々定者フォローイベントの実施・新規入職者のモチベーションフォロー企画の実施なども行っています。今年度は14名に内々定を出しましたが、5名の辞退を受け、内々定者は9名(11月1日時点)となっています。(小谷)

中途採用部門は現在、私をふくめて5名で業務に当たっています。応募経路として、「一つはハローワークやインディード等転職サイトを見、二つ目は主催者とおしての応募。三つ目は職員紹介です。応募受付後、担当者が事前面談と募集をとっている施設の意思確認をします。その後、適性検査を事前に実施します。試験は基本毎月25日に実施、内容は小論文と面接です。中途採用も巷の人材不足の影響を受け、上半期はほとんど動きが無かつたのですが、9月頃より急に動きが活発になつて対応に追われています。(紀谷)

採用のミスマッチを防ぐために大切にしていること

少子高齢化はこの道南に限つた固有の課題ではないのですが、函館市は他の中核市と比べても若者離れが目立っています。来春は何とか2桁の新規卒業者の受け入れを果たせそうですが、次年度はこうはいかないだろうとの予測です。広報活動の充実に向けて、ゆうあいのことを内外にむけて認知度やイメージを高めるムービーを来年の専門業者に監修してもらいたい。テーマごとに2分程度の短いムービーを幾つか作成する予定です。求人パンフレットもリニューアルの予定です。他にも、ゆうあいの未来を担うフランチャイズな人材を求めて、「新しい取り組みを企画したい」と思っている人材像を明確にすることが、まずは

課題と、その解消に向けて



令和3年12月の内定式の様子

#### 人材確保の取り組みについて教えてください

「人材育成について」参照。就職説明会や見学会などでは、新卒採用部門のスタッフより、このあたりについて丁寧に説明をします。加えて、ゆうあいが大切にしていることや強み、事業等についても分かりやすくお伝えできるよう心がけています。一方で、コロナ禍になって見学会や実習の機会が少なくなり、ミスマッチのリスクが高くなっていると感じます。(小谷)

中途採用希望者については、前職と雇用条件に大きな違いが生じます。今年度から始まったキャリアパスの仕組みと併せて、丁寧で具体的な説明が必要とされます。見学も必須にして、利用する方々や職員の様子を見てもらつて働くイメージを持てるようにしています。面接も必ず対面で行っています。見学の感想を聞きながら、一つひとつ質問にお答えします。ミスマッチはお互いに避けたいことなので、理解や納得をしていただけるまで細部にわたりて説明するよう心がけています。(紀谷)

今年度よりキャリアパスの仕組みが大きく変わりました。総合職として採用した後の配属の考え方などに課題を感じています。中途採用希望者については、以前の仕事で身についた経験値や知識が強みとして發揮される一方で、仕事の違いに戸惑つて馴染むまで時間がかかる方もいらっしゃいます。人材の確保、育成、定着は切つても切り離すことのできないものです。入職後も、周囲から「オローラが欠かせません。ゆうあい全体で、新しい仲間を大切にしている」とほしいと思います。さいごに、職員紹介は常に受けつけています。友人、知人など良い方がいれば紹介して頂けると嬉しいです。(紀谷)

## クッキーハウス



## 作業スキルアセスメントを基にした活動場所と作業内容の再編

岩谷 大地、山内 大輔

左)山内 大輔 右)岩谷 大地



クッキーの製造場面

今回の取り組みを通して、製造作業をメインに日中活動を行う上での大きな課題である支援と作業の両立の難しさと重要性を改めて感じました。そして、製造作業を通した利用者の方々の社会参加の促進には、作業量の確保と支援の質の向上が同時に求められます。その為に私たちは常に『作業』と『支援』の両輪を回し続けながら、これからもクッキーハウスを利用する方にとって、その人らしく地域で暮らし、やりがいをもって働くことが出来る場であり続けたいと考えます。



構造化のアイディアをとりいれた環境設定

今回の現任件の発表では、クッキーハウスの根幹である製造作業を支援のツールとして捉え、楽しさとやりがいを充分に感じて頂けるよう、専門的・客観的な根拠に基づいた環境の提供を目指した取り組みについて、報告させて頂きました。

クッキーハウスはクッキー・バーの製造・企画の下請けの軽作業などを行っている多機能型事業所です。製造・販売を通じた地域との繋がりをテーマに掲げています。しかし、令和2年当時、クッキーハウスでは製作量確保の不十分さや適切な利用者配置、客観的な分析の不足など、様々な問題点を抱いていました。それをクリアしていくため、『作業面に関するソフト、ハードの両面の再編』『売上向上計画』『支援面における職員スキルの強化』を大きなテーマとして取り組みました。

『作業面の再編』では施設独自の作業スキルアセスメントを作成し、TTAP検査も同時に行い、フォーマル・インフォーマルの両面から利用者の分析を行いました。それを客観的な根拠とし、どんなに変わることでも全員が必ず製造作業に関わることを目的・使命とし、作業の提供を実施しました。また、『売上向上計画』を策定し、販路の拡大等に取り組むとともに、利用者の分析に基づいた専門的な支援を提供するために職員の専門性の強化も図りました。これらの改革の結果、全ての面で状況は好転しました。

今回の取り組みを通して、製造作業をメインに日中活動を行う上での大きな課題である支援と作業の両立の難しさと重要性を改めて感じました。そして、製造作業を通した利用者の方々の社会参加の促進には、作業量の確保と支援の質の向上が同時に求められます。その為に私たちは常に『作業』と『支援』の両輪を回し続けながら、これからもクッキーハウスを利用する方にとって、その人らしく地域で暮らし、やりがいをもって働くことが出来る場であり続けたいと考えます。

## 現任職員研修会

侑愛会の研修・研究室委員会では年に2度、現任職員研修会を開催しています。

前期は外部から講師を招聘し、後期は各事業所での実践発表を行うことで法人全体で学びの機会を提供しています。今号の特集では、11月に実践発表された明生園、クッキーハウス、ゆうあい幼稚園の3事業所の発表者に内容の要旨を紹介してもらいます。



明生園

## コロナ禍における余暇の過ごし方

～明生園での暮らしの変化～

山下 美佳、東出 知華



左)東出 知華 右)山下 美佳



クラフト活動でタペストリーを作成

令和2年の新型コロナウイルス国内感染拡大から、利用者の方々の生活も制限を余儀なくされ、様々な場面でコロナ禍以前とは違った日常を過ごしている。そのコロナ禍の中で、明生園で行った余暇に関する取り組みや事例を紹介したいと思う。

明生園での感染対策として、外出や帰省の自粛、行事や日中活動の実施形態の見直し、支援員のマスクを常時着用、定期的な園内の消毒、毎日の検温や通院時のマスクの着用等が行われた。

コロナ禍に対して、少しずつ受け入れてくれている利用者の方々もいたが、はっきりとした原因の理解が難しく、この状況に対して伝える支援員側も手探りの状態だった。中には、新型コロナウイルスを「風邪」と言い換えて伝えるように職員間で統一すると、徐々に納得できるようになった方もいた。園内行事の実施形態の一例としては、日用品やお菓子、パン等の出張販売を支援員がワゴンやテーブルに商品を陳列し、各寮を移動する移動販売車スタイルで行った。また、今年度のゆうあい祭は「明生園ぶちゅうあい祭(表紙)」とし、屋外でキッチンカーやバーンアートショー、ゲームコーナー、バザーを楽しんだ。



衣類出張販売で衣類を選んでいる様子

フラダンス活動については、以前まで1か所に集合して練習していたがZoomで各寮を繋ぎ、リモート練習として行った。その他、身体を動かす活動としてボウリング大会やハイキング、クラフト活動として写真立てや鏡の飾りつけ、ひな祭りのタペストリー制作を行っている。

帰省自粛に対する取り組みとして、保護者とのオンライン面会や短時間の園内での面会が行われている。また、毎月帰省を行っていた方に対する取り組みの一例として、帰省ができない代わりに月に一度「家族からの小包が届いた」として、衣類や本人の好む小冊子、チラシ等を渡すという取り組みを行った。今後の課題としては、行事内容についての更なる精查、感染対策を徹底しながらの外出や帰省の工夫等があげられている。

これからもウィズコロナとして生活する中で感染対策は継続しつつ、利用者の方々の意向を汲み取りながらアイディアを出し合って企画し、利用者の方々が充実した生活が送れるよう支援に努めて行きたい。

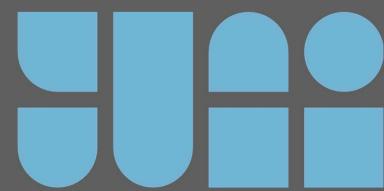
## 新任職員研修会

侑愛会では、新任職員研修会も毎年行なっています。前期は、ライフステージ別にゆうあいの事業を学ぶことができます。また救命講習もあります。後期は、グループワークを中心とした研修が用意されます。

5歳児 おひさま組  
物語を想像して動物を作成

3歳児は物語よりも目に入ったイラストや写真から「作ってみたい」の声が聞かれ、作り方やお店のやりとりを簡単にして、楽しくて楽しめる様子が見られた。4歳児は歌やしたり遊びを取り入れながら絵本の世界を表現していた。材料の素材の違いに気づき、より本物に近いものは何かを子ども達が考えて制作し、かき氷や火の玉キャンドルなどをを作る姿が見られた。5歳児は保育者の読み聞かせだけではイメージできなかった物語を、クラスで話し合いを重ね、印象に残った場面を迷路などのアトラクションとして制作した。物語の内容も深く感じ取るようになり、絵がない読み聞かせもイメージを膨らませて聞き入るようになった。

幼児教育は、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものである。今回は絵本の世界を通して、子ども達の創造力と作り出す喜びが感じられるごっこ遊びとなった。これからも遊びの中で経験を重ね、子ども達が自信を持って次のステップに進むことに繋がるよう、保育をしていきたいと思う。



社会福祉法人侑愛会  
学校法人ゆうあい学園  
[www.yuai.jp](http://www.yuai.jp)



社会福祉法人侑愛会  
学校法人ゆうあい学園  
[www.yuai.jp](http://www.yuai.jp)